— 医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読み下さい。—

使用上の注意改訂のお知らせ

2024年3月



製造販売元 ② 日新製薬株式会社

山形県天童市清池東二丁目3番1号

点滴専用

K アスパルテート製剤 L-アスパラギン酸カリウム注射液

L-アスノペラギン酸カリウム 点滴静注液 10 mEq 「日新」

処方箋医薬品(注意-医師等の処方箋により使用すること)

この度、標記製品の「使用上の注意」を下記のとおりに改訂致しますのでご案内申し上げます。 今後のご使用に際しましては下記の内容をご参照くださいますようお願い申し上げます。

改訂内容 (____ 部: 追記)

改訂後 改訂前 2. 禁忌(次の患者には投与しないこと) 2. 禁忌(次の患者には投与しないこと) 2.1~2.5 現行のとおり 2.1~2.5 省略 2.6 エプレレノン(高血圧症)、エサキセレノンを投与 2.6 エプレレノンを投与中の患者 [10.1 参照] 中の患者 [10.1 参照] 10. 相互作用 10. 相互作用 10.1 併用禁忌(併用しないこと) 10.1 併用禁忌 (併用しないこと) 臨床症状・措置方法機序・危険因子 臨床症状・措置方法機序・危険因子 薬剤名等 薬剤名等 エプレレノン<u>(高</u> 血清カリウム値が 併用によりカリウ エプレレノン 血清カリウム値が 併用によりカリウ 上昇するおそれが ム貯留作用が増強 セララ 上昇するおそれが ム貯留作用が増強 血圧症) するおそれがあ するおそれがあ セララ ある。 [2.6 参照] ある。 エサキセレノン る。 る。 ミネブロ [2.6 参照] 10.2 併用注意 (併用に注意すること) 10.2 併用注意 (併用に注意すること) 薬剤名等 臨床症状・措置方法 薬剤名等 臨床症状・措置方法 機序・危険因子 機序•危険因子 エプレレノン(慢 | 血清カリウム値が | カリウム貯留作用 性心不全) 上昇する可能性が が増強するおそれ あるので、血清力がある。 フィネレノン リウム値を定期的 ←追記 に観察するなど十 分に注意するこ

改 訂 後			改 訂 前		
mbbe dad to take	net o tomballo - Illimot I Ni	144	minter duri de dele	net o to shalls - Ill reet 1 No.	
薬剤名等	臨床症状・措置方法		薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
カリウム保持性利	高カリウム血症が	カリウム保持性利	カリウム保持性利	高カリウム血症が	カリウム保持性利
尿剤	あらわれることが	尿剤はナトリウ	尿剤	あらわれることが	尿剤はナトリウ
スピロノラクト	ある。定期的に血	ム、水の排泄を促	スピロノラクト	ある。定期的に血	ム、水の排泄を促
ン、トリアムテ	清カリウム値を観	進し、カリウムの	ン、トリアムテ	清カリウム値を観	進し、カリウムの
レン等	察し、異常が認め	排泄を抑制する。	レン等	察し、異常が認め	排泄を抑制する。
アンジオテンシン	られた場合には、	アンジオテンシン	アンジオテンシン	24, 11 - 550 El 1 1 1 1 1 1	アンジオテンシン
変換酵素阻害剤	本剤を減量するな	変換酵素阻害剤、	変換酵素阻害剤	本剤を減量するな	変換酵素阻害剤、
イミダプリル塩	ど適切な処置を行	アンジオテンシン	イミダプリル塩	ど適切な処置を行	アンジオテンシン
酸塩、カプトプ	う。	Ⅱ受容体拮抗剤	酸塩、カプトプ	う。	Ⅱ受容体拮抗剤
リル、エナラプ		は、アルドステロ	リル、エナラプ		は、アルドステロ
リルマレイン酸		ンの分泌を低下さ	リルマレイン酸		ンの分泌を低下さ
塩等		せ、カリウムの排	塩等		せ、カリウムの排
アンジオテンシン		泄を減少させるた	アンジオテンシン		泄を減少させるた
Ⅱ受容体拮抗剤		め、併用により高	Ⅱ受容体拮抗剤		め、併用により高
ロサルタンカリ		カリウム血症があ	ロサルタンカリ		カリウム血症があ
ウム、カンデサ		らわれやすくなる	ウム、カンデサ		らわれやすくなる
ルタンシレキセ		と考えられる。	ルタンシレキセ		と考えられる。
チル、バルサル		非ステロイド性消	チル、バルサル		非ステロイド性消
タン等		炎鎮痛剤、β遮断	タン等		炎鎮痛剤、β遮断
非ステロイド性消		剤、シクロスポリ	非ステロイド性消		剤、シクロスポリ
炎鎮痛剤		ン、ヘパリン、ジ	炎鎮痛剤		ン、〜パリン、ジ
インドメタシン		ゴキシン、トルバ	インドメタシン		ゴキシンは、血中
等		プタンは、血中の	等		のカリウムを上昇
β遮断剤		カリウムを上昇さ	β遮断剤		させる可能性があ
プロプラノロー		せる可能性があ	プロプラノロー		り、併用により高
ル、アテノロー		り、併用により高	ル、アテノロー		カリウム血症があ
ル、ピンドロー		カリウム血症があ	ル、ピンドロー		らわれやすくなる
ル等		らわれやすくなる	ル等		と考えられる。
シクロスポリン		と考えられる。	シクロスポリン		腎機能障害のある
~パリン		腎機能障害のある	~パリン		患者。
ジゴキシン		患者。	ジゴキシン		•
トルバプタン				<u> </u>	

改訂理由

◆自主改訂

今回の改訂内容は、日本製薬団体連合会発行 医薬品安全対策情報(DSU No.325 2024年4月)に掲載される予定です。 最新の電子添文は、PMDA HP「医薬品に関する情報」(https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html) および弊社 HP (https://www.yg-nissin.co.jp/) に掲載致します。

また、電子添文閲覧アプリ「添文ナビ」を用いて以下の GS1 バーコードを読み取ることで電子添文をご覧いただくことが可能です。

